

平成20年度「循環・共生・参加まちづくり表彰」表彰団体概要

■市区町村

富山県 入善町	人口：約28千人	面積：71.29 k m ²
【活動の概要】 入善町は、豊かで清らかな水に恵まれた扇状地を次世代に引き継ぐため、土地改良区や企業と行政が連携し豊富な地下水の保全と創水（創り出す）を推進するため地下水涵養や適正利用の推進を図っている。また、住民・自治会や企業と連携したクリーン作戦を実施し、町土美化に努めているほか、地球温暖化対策のための二酸化炭素削減に向けた取組みを積極的に展開するとともに、限りある資源を有効に活用するため循環型社会の形成に向けたリサイクル運動の推進を図っている。 また、住民と農業関係者とが連携しながら、地域の環境保全と先進的な営農活動（エコファーマー）を一体的に実施する「農地・水・環境保全の向上」を推進するとともに、風力発電など地域資源を活用した新エネルギーのまちづくりにも取り組んでいる。		

熊本県 菊池川流域同盟	人口：約320千人	面積：1,140 k m ²
【活動の概要】 菊池川流域同盟は、菊池川の清流を保全し次世代へ引き継いでいくこと目的として、流域市区町村（発足同時は21市区町村、現在は9市町）と住民団体（2団体）によって設立された組織である。構成市町村で統一の河川浄化条例を制定し、住民と行政が連携して菊池川の保全に取り組んでいる。河川条例の中で「菊池川の日」を定め、毎年、講演会や屋外イベントを持ち回りで開催するなど、流域全体で水環境保全に取り組んでいる。		

鹿児島県 志布志市	人口：約35千人	面積：289.47 k m ²
【活動の概要】 志布志市では、合併前の旧町の頃からごみの減量・資源化に積極的に取り組み、住民の確実なごみ出しを図るために通常の自治会とは別に「衛生自治会」を組織するなどして、行政と住民が一体となって循環型社会の形成に向けて取り組んでいる。 市内で発生する生ごみから製造した生ごみ堆肥を使ってひまわりを栽培し、その種から油を絞り販売する事業や、道路アダプト制度、市内一斉清掃活動のほか、「買い物からごみ減らし円卓会議」を衛生自治会、商工会、スーパーなどの小売店代表、消費者代表と共に立ち上げ、レジ袋削減に向けた取組も進めている。		

■民間団体

NPO 法人雨水市民の会（東京都墨田区）
【設立】平成7年4月【会員】200人
【活動の概要】 NPO 法人雨水市民の会は、雨と共生するまちづくりを推進していくために、行政や事業者と連携して、雨の環境学習、雨水利用のアドバイスや情報提供、雨水利用の技術開発、雨水利用技術者養成や環境学習などに取り組んでいる。近年では途上国における雨水利用システム普及の取組も行っており、活動の場を海外にも広げている。

NPO 法人えどがわエコセンター（東京都江戸川区）
【設立】平成15年11月【会員】329（個人・団体・企業）
【活動の概要】 NPO 法人えどがわエコセンターは、環境活動に関する地域の拠点として行政、学校、事業所や商店街、自治会、NPO などのあらゆるセクターと連携し、「もったいない運動えどがわ」と題した地球温暖化防止活動や、「えどがわ油田開発プロジェクト」と題した廃食油の回収・BDF 製造事業など、省エネ・省資源・ごみ減量に取り組んでいる。また、こうした活動を担う人材を育成するためのさまざまな環境学習プログラムを提供するとともに、地域の自然環境を保全しつつ活用する活動のネットワークの中心として活躍している。

日野市消費者運動連絡会（東京都日野市）
【設立】昭和57年7月【会員】38人（個人会員12人・団体会員1団体26人）
【活動の概要】 日野市消費者運動連絡会は、「水」（水環境の保全と再生に努める）、「ごみ」（ごみを作らない・買わない・出さない）、「食」（食文化を高める）を活動の3つの柱とし、「よりよい環境を子どもたちへ～問い直そう私たちの暮らしを～」をメインテーマとして様々な消費生活に係る問題を市民に啓発活動を行っている。さらに平成19年度からは、活動の柱に「CO2削減に向け積極的に取り組む」を新たに加え、市民を対象とした映画上映会を開催するなど、地球温暖化対策にも積極的に取り組んでいる。

菜の花公夢典東安居推進委員会（福井県）
【設立】平成16年4月【会員】48名
【活動の概要】 菜の花公夢典東安居推進委員会は、住民、行政と連携して、菜の花育成事業、河川敷きおよび堤防の草刈およびごみ清掃などの環境美化、地区の里山ハイキングコース（ミルキングコース（ミルキング＝見る＋ハイキング））の保守整備等の活動を行い、地域の環境保全に取り組んでいる。 また、「ふくいのおいしい水」として県の認定を受けた弘祥寺跡地の甘露水周辺の清掃管理、遊歩道の整備等を行い、憩いの場を提供している。 さらに、菜の花ロードを活用した「菜の花フェスタ」や「菜の花サミット」を開催し、地域の活性化にも貢献している。

社団法人勝山青年会議所（福井県勝山市）

【設立】昭和43年12月【会員】32名

【活動の概要】

社団法人勝山青年会議所は、「エコミュージアムによるまちづくり」を活動のテーマに掲げ、自らが主体的に取り組むだけでなく、市に対して政策提言を行い、「勝山市エコミュージアム構想」の策定及び実現化にも寄与している。

また、勝山市を流れる九頭竜川を、後世に美しい姿で残すことを目指し、河川清掃（クリーンアップ九頭竜川）によるまちづくり活動や、子どもたちを対象にした環境学習事業などを積極的に行っている。

また、平成20年度からはエコミュージアムフェスティバルを実施し、勝山市の魅力を発信するツーリズムを行うなど、地域の活性化にも貢献している。

NPO 法人緑と水の連絡会議（島根県大田市）

【設立】平成4年12月【会員】80人

【活動の概要】

NPO 法人緑と水の連絡会議は、里地・里山・里海の景観と生物多様性の保全を目指し、人を含む地域資源の発掘とその継続的な利用のモデルを示しながら「地域循環のまちづくり」に取り組んでいる。

地元小学校と連携した環境教育事業などのほか、都市の住民や学生を対象とした事業を実施し、都都市と農村との人的・物的交流を通じた「地域の再発見」にも取り組んでいる。

佐賀県有明海漁業協同組合鹿島市支所（佐賀県鹿島市）

【設立】平成19年4月【会員（組合員）】262人

【活動の概要】

有明海漁業協同組合鹿島市支所は、有明海の水質の改善・保全を目指し、海の浄化活動だけでなく、有明海に流れ込む河川の上流域での緑林活動「海の森事業」に取り組んでいる。また、鹿島市が取り組む「EM活性液による水質浄化」運動の普及や、有明海沿岸の清掃美化活動を定期的に行うなど、鹿島市のみならず有明海全体の自然循環力を高める活動を行っている。また、鹿島市の地域おこし取り組むフォーラム鹿島のメンバーとして、「鹿島潟リンピック」の企画・運営にも貢献している。